



「望楼」シリーズは、お部屋の中で過ごす、静かな時間を過ごしてもらっています。今回の「BOUROU」では、室外に出てもらい、館内全体を楽しんでもらう狙いがあります。目の前には屈指のカルデラ湖であ

準備状況はいかがですか
「工事業者の皆さんも期限内に間に合わせようと総動員して工事に当たってくれたことで、12月19日のプレオープン、25日の本オープンを迎えることができました。工事と並行して、従業員の研修も既存ホテルで進めてきました。オープン後も満足してもらえらるよう、ソフト面の充実を常に求めています」

野口観光(登別市、野口和秀代表取締役社長)は12月25日、洞爺湖温泉街に「BOUROU LAKE TOYA」をオープンします。五感で洞爺湖、北海道の大自然を体感してもらおう仕様となっており、野口社長は「館内で四季折々を感じられる仕組みになっています。道外から来たお客さまが洞爺、北海道の良いものに触れられるよう貢献できれば、地元企業としての役目を少しでも果たせる」と話しています。

した。全部屋から洞爺湖を眺めることができるので、窓越しだけではなく、ぜひ屋外に出て五感で感じてほしい。自然との境界線をあいまいにすることで、四季折々を感じられる仕組みを心がけました」



具体的な仕様について
「洞爺湖を満喫してもらいたいので、どっしり感じてもらおうかと考えて建物を選びました。宿泊部屋は本来、広めに設けるのが一般的ですが、今回はあえて狭くしてパランダを広く確保しま

る洞爺湖があります。建物の中にいるけれども自然が近く、どろどろ境界線が分らないような造りで、洞爺湖全体を楽しんでもらうことを掲げています」

こだわりは
随所に見られます

「食事で提供する食材は、胆振管内や地元こだわったものを中心としています。建物には札幌軟石や道産木材も使用しており、可能な限り北海道産を意識しています。私たちができる最大限で宿泊客をもてなしたい。道外から来て洞爺、北海道に触れられる機会を提供できれば、企業としての役目を少しでも果たせるのではないのでしょうか。ホテル名は、海外からの観光客にもなじみやすいよう「BOUROU」ローマ字表記にしました」



国内外の富裕層をターゲットとした新たな高級路線となります
「先代の社長は、価格帯をハイクラス、アッパーミドル、リーズナブルの三つのカテゴリーに分けました。昨年に亡くなる以前、客層の幅を厚くしたいと話していました。「BOUROU LAKE TOYA」は、新たなカテゴリーとしての試金石となり、野口観光にとっても

BOUROU LAKE -望楼- TOYA
洞爺湖・湖畔亭の建物を一部改修。出入口は別で建物内での客の行き来はできない仕組み。地上9階建て、地下は1階構造。3~9階に計20室設ける。最上階に設けた1室だけのプレミアムスイート(141平方メートル)は、和洋室に露天風呂と個室サウナを備えている。館内では、たき火テラスやゲストラウンジのほか、花火大会を間近で楽しめるルーフトップテラスのほか、リラクゼーションスパやフィットネスも設けている。

取材/室蘭民報社 報道部 石川昌希



野口観光株式会社
代表取締役社長 野口 和秀

2001年入社。10年常務取締役。17年副社長。22年6月から現職。産業能率大学卒。登別市出身。47歳。

大きな
リニューア
ルです。先代が
導入した客層
の多層化は、リ
スク回避にも
つながり、コ
ロナ禍で助
けられました
た。今後同様
のリスクが発生した際に、従業員を助ける意味でも、新しいチャレンジが必要になります。信用や宿泊客は、地域分散に取り組んだ創業者と客層の多層化を図った先代が残してくれたもの。その評価が野口観光へのリピーターにつながっています。ブラッシュアップして、価値を向上させる必要があります。そのために、さまざまな挑戦を続けていきます」

移りゆく時代の間に、
新しいいくつろぎを。

BOUROU
LAKE -望楼- TOYA

本日 12.25 wed OPEN

公式サイトにてご予約受付中 [BOUROU LAKE TOYA](#)

野口観光